

NPO 法人シルバー総合研究所主催

市民公開講座

高齢者施設・病院の食事ケア を問い合わせ直す

栄養支援体制の現状と課題

6月1日

(土) 13:00 ~ 16:40

会場 大宮ソニックシティ 603号室

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 JR 大宮駅西口徒歩 3 分

リレートーク (13:00~13:25)

認知症ケアにおける食事の意味

来島修志 日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 助教

食事とパーソン・センタード・ケア

佐久間尚実 社会福祉法人沼風会 サービス管理

シンポジウム (13:30~16:40)

座長 遠藤英俊

国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長

栄養ケアマネジメントと高齢者ソフト食

黒田留美子 高齢者ソフト食研究会 会長

法人の栄養支援体制の現状と課題

田中志子 医療法人大誠会 理事長

トータルケアの視点から食事を考える

田中とも江 拘束廃止研究所 所長

ケア専門職に求められる役割について

下山久之 同朋大学社会福祉学部 教授

参加費：一般 2,000 円 会員 1,500 円 事前申し込みが必要です

申込方法：FAX 申込書もしくは NPO 法人シルバー総合研究所のホームページよりお申し込みください

お問い合わせ先：電話 048-711-7144

◎ 理事によるリレートーク<高齢者ケアと食>

来島 修志 日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 助教。作業療法士として認知症高齢者への作業療法や回想法を実践。2002年より、北名古屋市思い出ふれあい（回想法）事業に携わり、地域回想法導入計画、支援、回想法リーダーの養成などに尽力。

佐久間尚実 社会福祉法人沼風会 サービス管理、沼風苑指定居宅介護支援事業所 介護支援専門員 認知症ケアマッピング(DCM)上級ユーザー

◎ シンポジウム『高齢者施設・病院の食事ケアを問い合わせ直す～栄養支援体制の現状と課題』

遠藤 英俊 国立長寿医療研究センター長寿医療研修センター長 老年内科部長、日本認知症学会理事 1982年滋賀医科大学卒業。1987年名古屋大学医学部大学院卒業。米国国立老化研究所客員研究員を経て、国立療養所中部病院内科医長となる。2004年国立長寿医療研究センター包括診療部長、2010年より現職。

黒田留美子 高齢者ソフト食研究会 会長、管理栄養士、農学博士（宮崎大学農学工学総合研究科 博士課程卒業）。「黒田留美子式／高齢者ソフト食」を考案・提唱し、2003年に「第1回杉田玄白賞」、2006年に「宮崎日日新聞社社会賞」を受賞。日本摂食・嚥下リハビリテーション学術学会評議員。

田中 志子 医療法人大誠会理事長 社会福祉法人久仁会理事長、群馬県認知症疾患医療センター内田病院センター長。平成3年群馬大学第一内科入局。県内の病院で研修を重ね、現在は認知症を中心とした老年医学を専門としている。また日本で始めて医師として認知症介護指導者となり、地域や医療関係者への認知症啓発活動に努めている。

田中とも江 社会福祉法人こうほうえんケアホーム西大井こうほうえん 施設長、拘束廃止研究所所長 看護師。1984年上川病院勤務、総婦長在職中の1986年より縛らない看護に取り組む。1998年10月の「抑制廃止福岡宣言」や、1999年6月の「九州宣言」のきっかけをつくる。身体拘束に繋がるオムツ減らしを提唱し、尊厳ある排泄ケアにも取り組んでいる。

下山 久之 同朋大学社会福祉学部 教授。早稲田大学大学院社会科学研究科政策科学論（福祉関係論）専攻、修士課程終了。専門分野は社会学（コミュニケーション論）、介護福祉学、ソーシャルワーク。主な著書：『写真でみせる回想法』、『介護福祉のための社会学』（共著：弘文堂）、『人生の終焉』（共訳：北大路著書房）

参加申込書 送り先 FAX 050-3737-4902 (NPO 法人シルバー総合研究所)

お名前	ふりがな		
連絡先 (職場・自宅) いずれかに○	〒 電 話 - - -		
所 属		職 種	
シルバー総合研究所の会員ですか	はい ・ いいえ ・ 新規会員を希望		
通信欄			

(お申込みから受講までの流れ)

- ① お申込み後、事務局より受講証を郵送いたします。
- ② 受講費は受講証に記載の振込先に、期日までにお振り込みください。
- ③ 当日は受講証をご持参ください。

(問合わせ先) NPO法人シルバー総合研究所 〒338-0812 さいたま市桜区神田313-1 B105 電話 048-711-7144